THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第二十號

毎週金曜日發行

大正五年五月十二日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□「もし婦人會が數十萬圓を持つとしたら」……小橋三四子
□時事週評……
□十八世紀の歐米に似たる女子敎育の現狀……法學博士　山脇玄
□一人一評＝佐方しづ子……
□名士と其の母(十)＝高島平三郎氏……
□花菖蒲匂ふ宿……氏子
□「女なる事を感謝する點」追加　吉岡彌生子、巖谷男子
□病難錄……てる子
□大人の玩具大人の遊戲……薄田斬雲
□日本橋から銀座迄……
□金魚の飼方……千葉晩香
□子供の智慧　話の應用、鯉の幟の入れ齒……
□朝餐の卓に……櫻井ちか子
□世界史お伽譚「一番幸福な人」……斬雲
□小說「地下室の窓から」……松本雲舟
□時事……公娼廢止運動費寄附金……編輯だより……

定價一部四錢五厘　郵送料五厘

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

毎日僅に二錢六厘六毛づゝのお薩を儉約なされば皆樣の書齋に此良い叢書を備へ付けることが出來ます

第十五篇出來（全部廿四冊）

日本釣と西洋釣とを別々に申込むことが出來ます

通俗叢書收容書名

古事記物語　源平盛衰記物語　太平記物語　曾我物語　義經記物語　平家物語　八犬傳物語　弓張月物語　太閤記物語　心學道話　膝栗毛物語　浮世物語　近松名作物語

笹川臨風編

通俗叢書

入會申込 五月三十日限

見本說定進呈（郵券貳錢）

第二編製本出來（全二十四冊）

毎月會費僅に八十錢

會員特與 書棚（代價無料）進呈

社會各方面の家庭より入會申込日々激甚なり

東京神田區[illegible]町

通俗教育普及會

振替東京二九七一・二五五〇三

家庭團欒の秘訣は此本を讀むことです

通俗教育叢書第一編 **赤穗誠忠錄** 上下全二冊 定價四圓五十錢 特別割引頒布價格 金貳圓九拾錢

通俗教育叢書第二編 **古今孝子錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

通俗教育叢書第三編 **豐公英雄錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

通俗教育叢書第四編 **古今義人錄** 全一冊 定價金參圓 特別割引頒布價格 金壹圓八拾錢

通俗叢書收容書名

イソップ物語　オデッセー物語　アラビアンナイト物語　ドンキホーテ物語　ロビンソン物語　ガリバー物語　英雄物語　ファウスト物語　アイヴァンホー物語　ジャンダーク物語　シェークスピア物語　モンテクリスト物語

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「もし婦人會が數十萬圓を持つとしたら」

國家的婦人團體の總會期節に際して共に考へたい問題

□今は總會の期節

青葉に風薫る初夏の東都は、例年赤十字社、愛國婦人會等、國家的一大團體の總會に賑ひます。電車の中に、白襟紋付きの徽章をさげた御婦人方にも、澤山に出會ひますが、これ等の方々は遠く北海道樺太より、臺灣、朝鮮の端からも態々出京されたもので、旅行を臆劫に考へる家庭の人々が、かくも多數に集まる事は、一進歩であると同時に、總會の引力に驚かざるを得ませぬ。

□總會の爲めに惜しむ

總會出席者は畏くも雲の上人を間近に仰ぎ奉り、親しく玉音を拜聽し得る斗りでなく、濱離宮、新宿御苑の拜觀等をも差許さるゝ特權があるので、有り難さに涙をこぼす老媼もありと聞きます。但し總會の實質は、如何に行はれて居りませうか、其の事業の進捗、發展に就ては如何に協議さるゝのであらうか。更らに婦人が特に團體を結んだ意義を明らかにする爲めに、會員はどれ程の心の用意を與へらるゝであらうか。かう考へれば多大の費用をかくる一大婦人會の總會の爲めに惜しまざるを得ませぬ。

□「半襟一と掛け」の據金

渾身愛國の熱情に燃えた故奥村五百子女史が、「半襟一と掛」といふ奇拔な言葉を標榜して、全國を遊説して其の基礎を作つた愛國婦人會は今や多年ならずして九十餘萬の會員と、三百萬圓の基本金とを有する世界無類の一大團體を生み出しました。一と掛けの半襟は年々箪笥の底に腐らして終う事は珍らしからぬ婦人が、進んで之れを據金した曉には、かくも一大勢力を生み出し得る事は、誠に生きた教訓と申さねばなりませぬ。既に積んだ金員は、如何に消費さるゝかは一大問題であります。金のメタルや形式的の運動費或は大仕掛けの總會々場等の設備に出費する事は止むを得ぬとしても、會の性質上から、これ等に多大の資を投ずるは、恐らく本意ではあるまいと思はれます。

□興味ある問題

聞く所によれば、同會は毎年二十萬圓宛を、定欵通りの軍人の遺族廢兵の救助に費して居るさうでありますが、なほ年々に多大の剩餘を見るので、今や積んで數十萬圓の餘裕があるさうであります。同會が國家的會合である丈けに、一般の婦人が「此處にもし數十萬圓を持つとしたら、」といふ問題の下に、最も有効な費途を考へることは、興味ある斗りでなく、一大急務であらうと思はれます。

□社會事業に平和運動に

此の頃二三の友人と共に閑談の末「も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し婦人會に於て數十萬圓持つとしたら」といふこの問題に就て、いろ〳〵考へて見ました。或る人は現今最も社會に必要な働らきをして居る會例へば救世軍の如きに投じて、貧民救助なり、慈善病院なり、肺結核療養院なりに用ひたい。我が國目下の急務は社會事業にありと申すのです。また或る人はこの戰亂後に於ける婦人の一大使命は平和運動にあり、これに參加する智識精神の用意と共に、充分なる費用を積むは怠るべからざる事であつて、もし數十萬圓ありとしたら、當然かゝる有用な運動費に用ふべきであると。

□飛行機に潜航艇に

また一說を案ずる者あつて、たとへ平和運動が興つても、國防さへも不充分なる國であつては、列强は對等の待遇を與へるに躊躇するでありませう。然るに我が國の飛行機を見ずや、潜航艇を見ずや、幼稚極るものであります。微力なる婦人が國防事業の一端になりとも貢献し得るやう、出來うる限りの寄附を以て、かゝるものの發達を計り度いものでありますと。

□會員自身の敎育運動

何れも一理あり、且つ目下の急務なるには違ひありませぬが、それよりもなほ必要なるは、之れ等の「半襟一掛」なりとも節して寄附した婦人の意志を聞くことであります。既に團體に加はり、會費を納むる以上は、會員自身が何等か强い意義を有して、これを運轉する能力を備へなくてはなりませぬ。救世軍可なり、平和運動、國防事業可なりでありますが、其運轉を全然他會に委かせるのは面白からぬ所であります。それよりも多數の中には無意義に出金して居る夢中の婦人も尠くない事でありませうから、先づ婦人自身を醒す敎育運動が必要ではありますまいか。その爲めに團體は「この金を何に用ふべきか」といふ懸案の下に、全會員に其の意見を募ることこそ、至當であつて、これが最もよい費途を見出す事でもあり、婦人の覺醒を促す敎育運動ともなるであらうといふ事に定まりました。昨今の總會の期節に當り、かゝる問題を社會に提出した事が、婦人會を生命あるものとする上に、幾分の參考ともならば幸であります。

二

時事週評

▲工場法の實施　來月一日から農商務省の管轄の下に工場法が實施されますので、各工場監督官は全國に巡回して、工場法の精神を講演して歩いてゐるやうです。東京市でも本月五日重なる工場主や同業組合幹部を召集して、岡商工局長の講演がありました。局長は工場法の精神は第一規律、第二慈愛にありと言はれました。孟子の所謂衆と共に樂しむ精神があれば、どんな大工場でも立派に經營が出來ると云つて居られます。同法の精神が各工場に行き渡り勞働者の待遇が一層改善されたらば實に幸福です。

▲私娼撲滅の訓示　西久保警視總監は本月八日市内各署長を召集して、私娼撲滅方針を訓示されたさうです。その主旨を察するに、私娼が非常に盛んになつたのは、各貸座敷がこれまであまり嚴重に取締られるので、其の建築等に多額の費用をかけ自然遊興費が高くなりしため、貸座敷が衰微したのが原因をなしたやうに解釋して居られるやうです。其のため今度の取締方針は貸座敷の取締を寛大にして遊興費を尠なくさせ、自然其方へ遊客を吸收せしめると同時に、私娼を嚴重に取締るといふのですが、其の方針通りにゆけば結構な次第ですが、かゝることは流を逆さにするほど六ヶ敷い事かも知れません。當局者は先づ公娼を廢して、次に私娼を取締るといふ廢娼論者の方針をどうして受容れないでせう。公娼は政府で作つたもの故、撲滅が出來ますが、私娼は人間の情欲のあらん限り撲滅されべきものではありません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十八世紀の歐米に似たる女子敎育の現狀

誰れか改革の先鋒たる者ぞ

法學博士　山脇　玄

□良妻賢母主義とは

近年女子敎育は大に興りつゝあるが、其の標榜する處を見れば多くは良妻賢母主義の外に出でない。言葉はいかにも美はしいが、其の內容を詮索して見れば、男子の需要に應じた女を作るので、從つて女の本性を充分に發揮する事は望まれぬのである。女學校を卒業した婦人が、如何なる頭腦を持つて居るか、社會に起つた以上、如何に時勢を看破して、世の進運に貢献して居るか、未だこれ等を現在の婦人に求めるのは、無理な注文で、僅に夫の蔭に隱れて、人形の如き生涯を終るのが當然である。

□歐米の婦人發達史を調ぶ

何時迄かゝる狀態に婦人があるのであらうか、我が國婦人は終に自ら覺醒を叫び、社會も亦これを人間として敎育し、人間として待遇する時機は來ないのであらうかとて、私かに慨嘆して居つた處、近頃歐米の婦人の發達史を調らぶる中に、圖らずも日本の現狀その儘の時代ある事を發見したのである。即ち十八世紀から十九世紀の前期迄は、日本の現在と同じく、女子を專ら男子の都合よい樣な型に篏めて、敎育して居つたので、其の後機熟するに及んで、婦人の叫びによつて、今日の歐米婦人界を現出するに至つた事を知つて、我が婦人界の今後に大に囑望するに至つた次第である。

□歐大陸の十八世紀

佛蘭西の國風が頽廢して、政治は紊亂の極に達した千七百六十年頃、忽然として現はれて政界の革命家があつた。名をルッソーと呼び、「人間は原始時代に歸らなければならぬ」と叫んで、頻りに蠻風を鼓吹した。腐爛して文明に倦んだ人心は、風に臨んだる葦の如くこれに歸して忽ち一世の渇仰の的となつたのである。この人の女子敎育の意見は、男子の爲めに女子を作る十八世紀の一般の思潮を、最も大膽に現はして居るもので、當時の女子に對する觀念の如何に低級であつたかを窺ふ事が出來るのである。左に其の抄譯を掲げて見やう。

□ルツソーの女子敎育主義

ルッソーは曰く「女子の德は服從にあり、溫和は女子の素質なり。女子は不完全にして、不行跡に、且つ常に過失多き男子にも亦柔順なるが、其の本來である。女子は幼少より不正の事にも能く堪へて、配遇の過誤を忍ぶ修養を積むべき

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

で、如何なる場合にも、決して配遇者の事を他人に訴へてはならぬ。女子が奴隷の境遇より、男子の伴侶たる境界に進向するやう、自然が與へたる手段は、只一の詐術の途あるのみ。女子は其の存在も幸福も、自ら産み出すにはあらざれば、德義の規準によつて自己の措置を決すべきにあらずして、先づ周圍の判斷を須つやう修養されなければならぬ。女子が德義上服從すべきが如く、精神上にも獨立すべきに非ず、また獨立せんとして欲求すべきにも非ず。女子の宗教は權威に從はねばならぬ。故に少壯女子は母親の權威を、妻は夫の權威を奉ずべきである。假令それが僞りの宗教なるにもせよ、女子が精神上の働らきを爲すは、必ず男子の精神上作物の應用、出現たらざるべからず」と申すので、女子を全く奴隷の地位に滿足せしめんとするものである事は明らかであつたと云はなければならぬ。

□一世紀間の鬱積

其の後この教育主義は歐大陸に信奉せらるゝ事、殆ど一世紀の久しきに亘つて居つた。然し不合理なる事が永續する例しはない。長夜の眠りは漸く醒めて、其處にも此處にも女子の覺醒は叫ばれた。久しく口を緘せられて居つた女子は、盛んに新聞雜誌上に意見を發表し、「奴隷の境遇を脱せしめよ」「一個の人間として、其の本性を發揮し、また社會もこれに適當の待遇を與へよ」との聲が盛んに起り、婦人は團結して、權利獲得の運動を開始するに至つたのである。其の婦人團體の一人に、傑出した一婦人が出て、千八百八十七年、伯林の多數婦人を代表して、プロイスの文部省及び衆議院に、女子教育改革の請願を提出したのである。この婦人はヘレーネ、ランゲ女史と呼んで、實に近世の婦人發達史の卷頭を飾る人物であつた。

□ランゲ女史起つ

ランゲ女史の請願の内容は、畧ぼかうであつた。「從來の教育の主要なる缺點は、智識が表面的にして、些かの連絡なく、學問を修得したるに非ずして、之れを詰め込むに止れり。換言すれば學力を

四

附するに非ずして、各種の智識を單に物質的に把持するに止れり。之れ等の時弊の基づく所は抑も何れにありやと云へば、學生は學校にて修養を締め切り、此處にて完結すと云ふ主義を採るにあり、女子に諸科の概略のみと、完成の判斷を與へて、十六歳迄に普通教育と稱する總てのものを授くるにあり。斯る主義は婦人の天職に就ての過れる見解より出づ。即ち婦人は男子の爲めに、男子の需要に應じて教育すべしと云ふにあり。此の時弊を防がんとするには、締切完結主義に代ふるに、學力を附する主義、婦人は男子に關係なくそれ自身の爲めに、精神上、德義上、獨立の人格を作る爲めに教育されて、文化上の職責、即ち教育を眞に完成すと云ふ主義を以て教育せざるべからず」と云ふのである。

□女史の根强き主張

次でランゲ女史は女學校の校長並に上級の教師の女子ならざるべからずとの强き確信を抱き、更らに婦人の向上を計る爲めに師範學校の設立を其筋に請願し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

たのである。當時この革新的思想には、當然論難喧しかりしにも拘らず、根強くその主義を主張し、遂に其の説の正當なるを認められて、女子教育の一大改革は行はれ、婦人を人間として教育するに至り、今日の歐米婦人の如き智識人格を生み出すに至つたのである。而してこの革新を見るに至る迄は、實に一世紀の歳月を要したのである。

□其の出現を俟つや久し

我が國の今日、女子教育界の識者は多く所謂良妻賢母主義に滿足する者ではなく、女子の本性を發揮する爲め人間としての教育を授くる事の急務なるを思ひつゝ、なほ右顧左眄して、容易に改革の氣運に到達しないのである。然し乍らこれが教育者の側より起るにあらずして、婦人の團體、婦人の眞實な力によつて行はるゝにあらざれば、婦人の革新を見る事は不可能の事であると思はれる。我が國のヘレーネ、ランゲ女史たる者は誰れぞ、其の出現を俟つや久しいのである。近頃新らしき婦人と稱へて、或は奇警な言説を吐いて、世人を驚かし、或は自由戀愛を稱へて、指彈を招いて居る者も、其の脫線的行爲の中にも、從來の日本婦人の同じ型を破る先鋒として執つた、多少の誠意があれば、私は之れを掬まんことを欲する者であるが、願くは、かゝる婦人も世人の疑惑を敢へて買はずとも、其の努力を正當に用ひて、一日も早く婦人界の革新を行ふやう切望する次第である。

五

一人一評

佐方しつ

□一概には云へぬ。が、女流教育家の感化と云ふものは、多く花火的のものであつて、深く無い――と云ふものがある。その意味は女流教育家の教鞭を執る期間が長くない爲であると解釋するものもあるらしい。併し私は左樣に考へぬ。出來ることならば、中等程度の教育迄は、男女を問ふことなく、女流教育家の下にやらしたいと思ふ。而して此の爲には――婚期を刧久に逸する老孃も出來るであらう。が、致方はない。貴い犧牲になつて貰はねばならぬ。

□二十年を一日のやうに、東京女子高師の學監として好評ある佐方女史が何故に獨身生活に生涯を終らうとしてをるか、その理由を問ふ必要なく、唯だ我が教育界は一生を犧牲にしたものと考へたい、否な、信じたい。大抵の獨身婦人に通有性とも見るべき偏狹なく、固陋の氣もなく、恰も封建時代の良人に先立たれた女丈夫が其の遺子の撫育に――父の如く、又母のやうに、寛嚴を失はぬと同一の覺悟で門下に臨む佐方女史の態度は、實に床しいものであり、なか〳〵貴いものであると云はねばならぬ。

□若し我が儘を云へば――佐方女史の武士的氣質と教育法とは、何程か型に箝つた女性を造ることになりはしないであらうか。世の中に『師範出身』とけなされる一種の氣分がある。如何にもわざとらしい、表面的な、僞善者らしい態度が、東京女子高師の卒業生にも少くないのは、佐方女史に再考を煩はさねばならぬ處である。が、この傾向にして佐方女史に私淑する生徒達の先生を模して未だ及ばぬものであるならば、又美しいものであつて、益々世間は佐方女史に敬意を拂はねばならぬことになるのである。

（冬湖生）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母(十)

高島平三郎氏

□嘗て嗟嘆怨聲を洩らさず

私の今日あるは一つに母の賜物と云つてもよろしい。母は明治四十一年九月七十三歳で長逝したが、今尚その遺訓を思はぬ日とては無い。名を加壽子と云つて、十八歳で高島家に嫁し、三男一女を擧げたが、維新の世變に家道窮迫の極に達し、しかも父は大患に罹つて起たざる事三年に及んだ際の如き、母は一方病夫を看護し、他方には童幼を教養しながら、嘗て嗟嘆怨聲を洩らした事が無かつたのであります。

□恐怖の念を矯めらる

病弱の生れの私は、母に心配をかけた事も一と通りではありませんでした。幼時砲聲を恐るゝ事非常であつたが、母は「武士の子が砲聲を恐れてどうするぞ」と自ら私の手を把つて、泣くをも厭はず發砲の場所の間近に伴つて、恐るゝ理由は少しも無いと諭された事がありました。私が少年青年時代を通じて、事物を恐るゝよりも先づその眞相を研究せんとする性向のあつたのは全く母の感化であります。

□懐に入りし窮鳥

私が八歳の或日眞夜中に座敷の障子にバサリ〳〵と當る音がするものがあつた。兄も姉も皆目を醒まし、大に恐れたが、誰も之を見屆けに行くものがない。母は恐るゝ私共を鎭めながら、徐に障子を開いて之を檢せられたが、それは椋鳥の塒に迷うてか、鷹に追はれてかして、舞ひ込んだのであつた。母は落ち付いて「椋鳥だよ」とて、自ら之を捕へ、籠に入れて椽側に置かしめ、明朝を待つことゝして、私共を寢に就かしめられました。翌朝出入の八百屋が來て、此の話を聞き「椋鳥は今一番美味しい時故、是非共讓つて下さい」と乞ふた。併し母は私共を集めて「窮鳥懐に入れば獵夫も殺さず」といふ語を引いて、懇ろに諭され、籠から放つて遣るやうにと命ぜられました。私共はこの鳥をその儘家に飼つて置き度いと思つたが、母の教へに從つて放ち遣つたのでありました。後年私が動物虐待防止會の發起者となり、今日も亦動物を愛護する心の切なるのは、母の是等の教訓に淵源して居ります。

□太閤様は免狀を持たぬ

嘗て孫女の婿が數年間米國に留學し、業成つて歸朝した際、某中學に教鞭を執る約束が將さに成らうとしたが、文部の檢定が無いと云ふので、事終に破れたと聞き、母は「太閤様は免狀を持たなかつたが、天下を取つたではないか」と大に本人を奬勵せられた事があつたが、私が今日迄何の特權をも籍らずして、百難を排し、己のが教育の主義を標榜して來つたのは、母のかゝる精神に負ふ處が多大であると感じて居ります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花菖蒲匂ふ宿

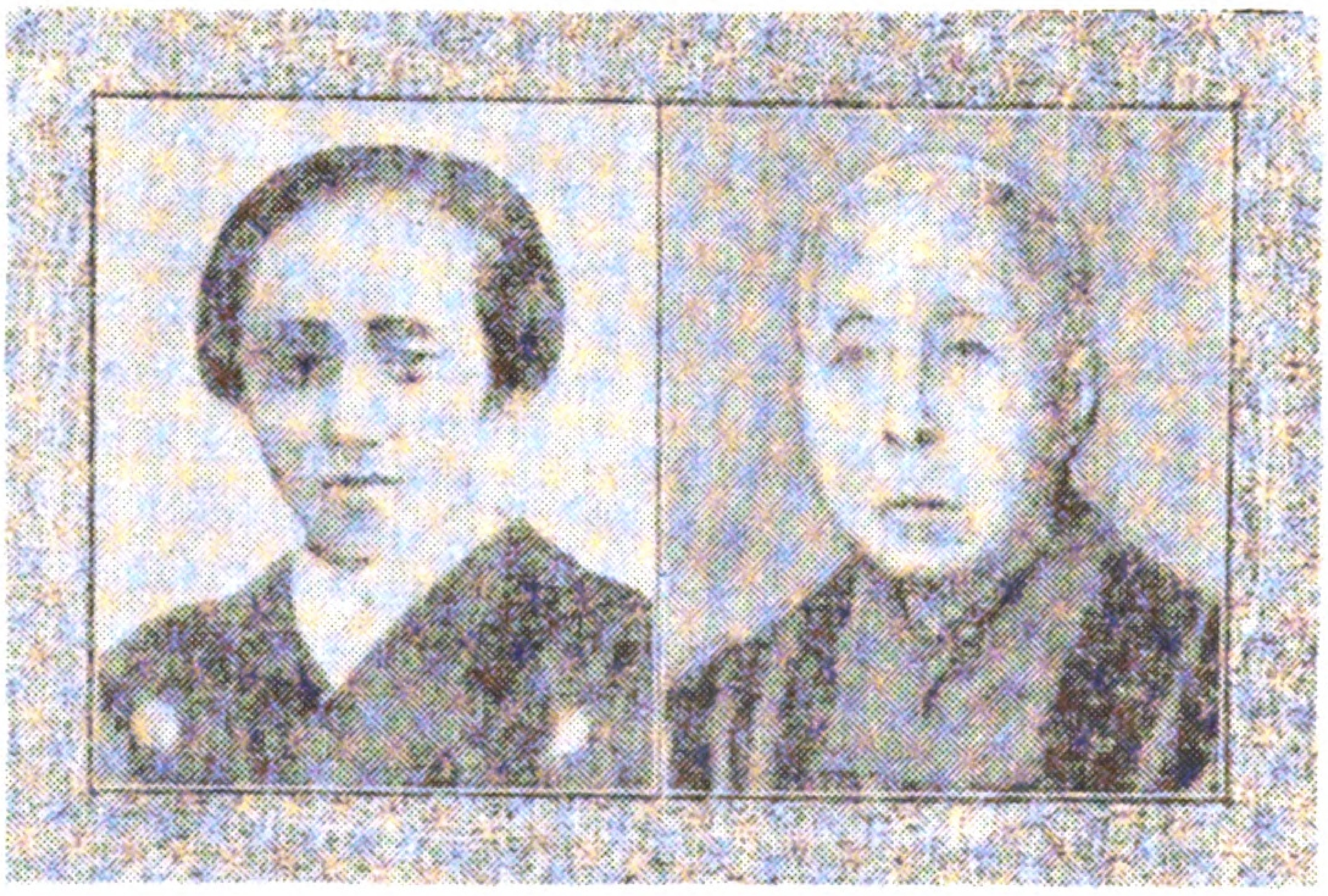
五十年祭近き維新の志士　高杉晉作氏の夫人を訪ふ

□

五月某日の眞晝――晩春の明るい日光を浴びながら私は維新の志士高杉晉作(東行)氏の未亡人政子刀自を麻布飯倉五丁目六十番地の邸に訪れる。乾ききつた街路は雲のやうに埃を巻いて隅から隅へ旋風が暴れ廻つてゐるのに、邸内はさながら人里を遠く離れた隠れ家のやうに音なくヒツソリしてゐた。玄關の土間には焦茶の鼻緒をすげた婦人履きの下駄が一足、主を偲ぶやう正しく揃つてゐた。

□

私は裏庭添ひの八疊の室に通される。何處となく時代の色を塗り込めたやうな、しつとりとした重々しい感じのする室、無造作に手桶形の花瓶に投げ入れてある床の間の紫の花菖蒲が床しく趣きを見せてゐた天井の高い鴨居に故人と故人の兩親との寫眞が額にしてかけて有た、



高杉政子刀自と其令息夫人

□

『私共の朝夕はまるで尼寺の人の夫れのやうに單調でございます。男と申しては中學に通つてゐる當主の春太郎がある許りで、他はみんな寡婦揃ひでございますので……。』刀自に代つて出られた東行令息故東一氏の夫人は、寂しげに微笑して仰有る。飾り氣のない楚々としたその御姿は、昔の物語の中の人を偲ばせる。多端なりし國事の奔走にその生涯を塗りつぶしたやうな東行氏が、春秋に富む二十九歳の齢を一期に下の關の客舎の露と消えられてから、此處に五十年を數へるやうになつた。

□

この思ひ出深き日に故人に對する刀自の思ひ出のかず〲を伺はして頂きたい、とお願ひすると、

『母は實に老體でございますので、御無

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禮があつては済まないからと申して今は引き籠つて花いぢりや、神棚や佛壇のお掃除に日を暮して何人にも失禮致して居ります。東行に對する思ひ出は至つて乏しいらしく、なければならない筈なのに、とその餘りに乏しいのを自分でも怪しんでゐるやうでございます。萬延元年の正月十六歳で嫁し、東行が沒したのは母が二十四歳の四月ですから連れ添ふてゐた月日は八年でございますが、東行はあの通り東奔西走殆ど席の温まる暇のない人でありましたので、母は良人に代つて家を守り両親に孝養を盡してゐたやうでございます。で良人が如何な働きを何處でしてゐるのか、お國の爲めに働いてゐると言ふことの外殆ど知らなかつたらしく思はれます。今の人から見れば隨分理解がなさ過ぎるやうに思はれませうが、要するに良人をして志のまゝに活動せしめる、と言ふことが當時は唯一の婦徳だつたのでございます、明治三十年東行の母が沒するまで手厚く仕へて居りました』と夫人は言葉を切り、而して奇行に富む東行氏の妻として、且つ憂國の士の妻としての刀自の生涯を今更ら忍ぶやうにジッと中空を凝視められた。裏庭には眞赤な色に躑躅が咲き誇つてゐる。

□

刀自は本年七十二歳であるが眼もはつきりしてゐられるし、耳も達者で壮者をしのぐほど矍鑠たる者で、襖を隔てゝその聲を聞くところ若き人のさゝやきのやうに瑞々しいと言ふ。頭は先年落飾された。『高杉に登らうか柚子の木に逆に登らうか、私は高杉に登るより柚子の木に逆に登らう。』と山口地方で唄はれてゐるほど嚴格な高杉家に嫁して刀自は、眞實の娘のやうに舅姑の愛を一身に集められた。姑が晩年盲となり樂しみなきまゝに三味を玩ばれると、後から手をとつて勞れたと聞く。烈士の陰に斯うした妻のある事はいつの時代にも變らぬことらしい。東行氏には梅處と言つて影のやうに各地に從つていつた愛妾があつた。刀自は其の人に向つて如何な眼を注れてゐたか伺ひたかつたけれど、婦徳の化身のやうな刀自の生涯を思ふとその問ひは自ら無意味らしく覺えたので止めた。

八

『あなた、梅處は私のなし得ない務を盡して呉れた女でございますよ。』と仰有るやうに思はれて。

ありし世の昔を更らに忍ぶ哉
立ちうかりける奥津城のもと

とは陽炎もゆる今春の四月、故山を訪うて故人の奥津城の邊りを去り難くて詠まれた歌である。（民子）

女なる事を感謝する點

（〆切後到着のもの）

前號掲載の「女なる事を感謝する點」に就て名流婦人方の十數名の御感想は、非常に讀者に喜び讀まれました。左に編輯〆切後到着したものを御披露致します。

□ 女子醫學專門學校長 吉岡彌生子

女を知るものは女なり。女の病氣を知悉し得るものは、女の醫師なり。女と交はり、婦人病者の友となり、精神的に、肉體的に、女の友となり得る事を感謝致し居り候。

□ 小波氏夫人 巖谷勇子

男がよく助けてくれる事を女としては感謝します。（無論此方からも助け得る事も）。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

病難録

（一）

てい子

てい子さんは本社の人事相談部の顧問をお願ひして居る法學士高田愼吾氏の夫人です。去年發病された良人の大患に經驗された驚きや、悲しみや、悟りや、祈りを眞實な筆で認められたものが此の一篇です。

發病

□なにか強い感激がほしい、刺激に會ひたいと二人きりの單靜な生活に馴れすぎた私の心はつぶやく事があつた。少しの曇りもない平安な歩みを感謝しながらも、どうかすると沈滯しきつたような氣分になやまされた。そんな時に空想好きの頭はいくつもの喜劇や悲劇を編んで、そこに涙や波瀾や悦樂をまき起した。空想の生む變化を實生活に塗りつけて無異の倦怠を紛らそうと試むる日さへあつた。

□悲劇の中には「良人の死」の幾幕かも綴り込まれた。此の題材丈けはたゞ好奇的な空想がえらび出したのではない、起居に動作に氣力の衰へを讀む事の出來る良人の樣子はなにかしら暗い豫感を私に抱かせた。近いうちに貴方が死にそうに思はれて仕方がありませんさか、お葬式はどんな風にするのがお好きですさか、死ぬと決定つた時は私にどんな遺言をなさるのさか、眞面目のように冗談のように私は問れた。それは去年の二月頃からだつた。

□七月十一日、その日は朝から小雨催ひの陰鬱な日であつた、近くの醫師にかゝりはじめてから丁度一月目になるけれど病狀が一向に判然しないのと、十五日から大阪で開かれる內務省主催の講習會に出席する責任を帶びてゐたので、旅先の注意などぢ必要な處から、牛込見附にある泌尿科專門のA病院で診察を請うた。其處ではじめて腎臟結核のしかも病態がかなり亢進してる事を知つた、病氣はもう數年前に發したものでこれ迄よく堪へられたと院長の博士が吃驚してゐた事や、手術をすれば大方癒はるだらうといふ醫師の意見だつた事、そういふ宣告をうけた時の感想など夜になつてから私は委しく聞かされた。結核性の危險な病態である事など話して不意な驚きを私に見せるのを氣づかひ、打開けた方がい丶か秘しておく方がい丶かと平常信賴してる婦人の考へを徹して來た事もその時知つた。けれ共唐突な災厄に會したような驚きは私になかつた、「遂ひにその日が來た」と萬一を豫想してゐた暗い影に打ち當つた驚きに過ぎなかつた。

□話が大阪行の方にうつつた時「矢張り大阪には行くさしやう、關西の知人に訣別するゝ機會だから」と云ふ訣別の一語は私の心を痛い程寒くした。「訣別なんて仰有らないだつて……手術さへなされば快くなるでせう」「それはどうたかわからない、さもかくあなたには氣の毒だつたれ、まだ若いのに」哀れみの言葉をうけて私はたまらなく悲しくなつた。「氣の毒なんてそんな事ありませんわ、貴方の病氣を通して私が深い攝理を學ぶ事が出來れば、反つて感謝しなけりやならないでせう」強そうな慰めごさを云つたけれど、堪へられなくなつたので別の室にかくれて泣いた。

□私の求めてゐた刺激はもつと甘美的なそして詩のような魅力を與へるものでなければならなかつた、幼いもの丶そういふ幻影を黑い衣に冷い死を包んだ現實は粉々に碎き去つた、「目醒めて神に返へる時が來た」現實の前に引据えられた私の心は悔いの祈りで一杯であつた、此の夕べの嚴肅な氣もちを私は生涯忘れたくない、また嚴かな意味に於て二人が一體を感じた貴い經驗をいつまでも記憶したい。

九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

大人の玩具 大人の遊戯

薄田斬雲

□所謂茶人趣味

人間は凡て遊戯を必要とし、又玩具を必要とするものです。だから子供ばかりが玩具や遊戯を要するのでなく、大人も同じ事に遊戯、玩具を必要とするのです。

日本の大人は、モッと自然な天真流露的な遊戯と玩具を撰んだ方が好からうと思ふのです。日本の大人は餘りに茶人じみた事ばかりするので、人間が早くぼけて了ひます。日本人は散歩と云ふ事を口にしますが、遊戯を口にする事を恥ちます。偶ま有れば、妓遊びです、待合遊戯です。健康増進精神洗滌の體育的遊戯ではありません。

□アルコールの血管體操

何か面白そうな事の多くは、小供らしいとして忌まれます。百歳迄小供らしい無邪氣な心を保存し得ないで、唯だ世間體ばかり氣にする處は小國民の特徴です。試みに日本の大人の遊戯や玩具を數へると、碁、將棋、茶、書畫骨董、茶器、刀劍、俳偕、凡て之れひねくれた盆栽樹の樣なもので暢々した氣の晴れる物は一つもありません。奴隷人の爲めに出來たこそ〳〵趣味のものばかりです。些と出しやばつた方面では、盃を玩具にして酒を飲む事を遊戯に代へる、之はアルコールの血管體操とでも申しませうか、だらしないぐうたらの骨頂です。併し今日の我が國社交界では酒さへ飲めれや一流の幅利きで通用するのです。之は奴隷主義の文明から動物主義の文明に進化したのです、野獸にも奴隷以上の自由が與へられて居ます。

□氣の晴れる遊戯は文明的

大學の博士達が、戸山へ出かけて射的の競爭をやる、こんなのは本當の文明的遊戯です。刀劍道樂は感心しませんが、竹刀で面試合の勝負をやるのなら之も文明的の遊戯です。碁、將棋で業を煮やすよりは弓を曳いて的の當てッこする方が文明的遊戯です。氣の詰る遊戯は非文明的で、反對に氣の晴れる遊戯は文明的な自然的なものなのです。

□道樂の撰擇が大切

人間は、何か道樂がなくては困るものですが、併し道樂だから何んでも好いと云ふ譯のものではありません、何等か新らし味のある道樂を撰ばなくてはなりません。骨董的道樂に耽ると、何時か其人間は、全體に骨董的なカビの生へた氣分になつて了ひます。

□眞の彌次根生を養へ

日本人は茶人じみた、かびの生へた道樂が有り過ぎて眞の意味で云ふ遊戯と云ふものを有つて居ません。爲めに日本の社會は、油の切れた機械の樣な處があります。各學校に柔道撃劍を課目同樣に奬勵して居るけれども、彼等は學生を終つて紳士となるや、道場へ顏出しもしません。いやに老寄りじみた事ばかり口にして、萬事に通がり、澁がる事を誇りとするのです。其爲で早く腰が屈り六十にして頽然としてぼけるのです。大隈伯を彌次馬根性が張つて居るなど〳〵言ひますが、日本人は、モッと〳〵眞の彌次馬根性を養成しなくては極東蕞爾たる一孤島に木乃伊的人種となり終るでせう。スミスの曲乘り飛行などは眞の彌次氣質の標本です。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日本橋から銀座まで

雜多に塗られた色彩のうちに湛ふ初夏の流行

□

雨上りの日光は湯のやうにふり注いで、街路にも屋根にも白く光り、公孫樹の並木は行儀よく車道の兩側に並らんで、瑞々しい若葉の陰をしつとりと潤つたアスフワルトの上に落してゐる。かうして日本橋通りは昨日の如く、一昨日の如く、今日も幾多の數知れぬ人間を送迎してゐた。夫れは晩春の或る日の午前十一時、私もその無數の人間の中の一人であつた。うよ〳〵と絶え間なく歩む人の群は雜多な繪の具をなすりつけたやうな奇怪な色彩で動く、が何れが何うと特に夫れのみを取り立てるやうな水際立つた女はない。

□

三越呉服店が臨時休業をしてゐたので白木の前に行くと、此處へは流石に美しい人が電車の中から吐き出されて流れ込む。けれど、十歩あまり小走りすると忽ち白堊の中に吸ひ込まれるので、折角の美しい人の姿もやがて幻と消えうせて、白、紫紺、紫、青磁などの色のみが瞼の裏に殘る。二十分間あまり電車を待つやうに裝つて佇んでゐると。

『ねえや、お母樣のをもう少しお持ちしてお上げ。』

と言ふ優しい聲が幽かに聞えたので、洋傘を傾けてそつと見ると、亂れ櫻を繡ひ散らした青磁の半衿に衿元を彩らせた赤い手柄の色白い粋な若夫人であつた。着物は荒い茶の棒縞のお召、周圍に白いレースの飾をつけたクリーム色の洋傘の下からは色紙に菊をあしらつた華やかな帶がのぞいてゐる。目覺めるやうなその姿を言ひ合はせたやうに皆が振り返つて見ながら行く。その側には黒絽縮緬の半コートの切り下げの婦人と、龍田の紅葉をかたどつた模樣の袷に猩紅色の帶をお太鼓に結んだ稚子輪の令孃が立つてゐられた。

□

私は何物かを追ふやうに銀座の方へすた〳〵と歩む。と通り三丁目邊りの或る横丁から惜しげもなく白い頸を見せて出て來た銀杏返しの女がある。うす藍地に疋田の絞り模樣を浮かした羽二重と黒繻子とを腹合せにした帶が脊中で息づいてゐる。何か小聲で口ずさんでゐたがカチヤリとアスフワルトの上で音がしたのでチラッと見ると、夫れは小さな石鹸箱であつた。お湯の歸へりらしい。

□

私は故もなく人と人との間を縫ふやうにして歩む。行き逢ふ人、追ひ越す人の中には若き人中年の人、老境の人と數知れずあつたが、目を留めるやうな人は大凡すつきりしたお召の袷に薄色の洋傘をさしてゐた。半衿は白つぽい地色に刺繡の模樣をあしらひ、帶はあくどいと思はれるほど雜多な色彩が集つてゐた。さうでないものはすつきりした絞り模樣と黒繻子を腹合はせにしてある。無意識にそんなことが眼に寫つたので、あゝ之れが今の流行かな、と思つて銀座二丁目の電車の停留場に立つてゐると、カッフエーの銀座の瀟洒な竹垣の横から華やかに笑ひ興じて二人の女が出て來た。露をふくんだやうな柳の葉蔭を二人はオリーブ色のベールを風に波うたせて行く。二人の翳してゐるクリーム色の洋傘は、花に狂ふ胡蝶のやうに、合ひつ離れつ入り亂れて遠ざかる。何處かの女優なのかも知れない、などフト思つて私はその後を見送つてゐた。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金魚の飼方（二）

千葉晩香

□藻放れの金魚への馳走

藻放れの翌日又は翌々日になると、生れた金魚の子は泉水か桶の四方の『フチ』に附着して居るが常であります。此仔魚に御馳走をするのです。其御馳走は鷄卵の黄身がよいのです。鷄卵の黄身は煮て白身を去りまして、其黄身を紗の布で能く漉して、其漉した黄身を水に溶かして桶の四方或は泉の四邊から流し込むのです。若し便利な所でありますと、『ミジン』こと謂ふものを盃猪口で半分程も入れて、彼等の食料にするとよいのですが、都會ではソレが出來ますまい。ソレより卵の黄身の方が便利であります。

□餌食をする日數

孵化後直ちに餌食をせしむるとよいと謂ふ説と、ソウでなく數日又は數十日間經て餌食せしむると謂ふ兩説があるけれども、あまり早く餌食をさすと、水が早く濁りますからして、ソレも考へ物です。先づ生れてから十二三日經てから、餌食をする方がよいのです。

子供の智慧

□語の應用

毎度出ます四つの忠ちやん、軒下にあつた金盥に樋を漏る雨垂が落ちて、かんかんと音がするのを聞きながら、首を傾げて考へてゐましたが「あゝ父ちやん、雨さ金盥さが喧嘩してるれ」と申しました。

* * * * *

同じ忠ちやん「母ちやん、風がお腹に入つて、ほら、お腹がこんなこんな（手で腹の出たり引込んだりする樣して）になつて、衣服にくつつくれ。苦しいれ」と云はれて、母さんは判斷に迷ひましたが、解りました咳の事を云ふのでした。（京都から）

□鯉の齒を入れ齒に

均さん（七つ）は他處から戴いた大きな鯉の料理を臺所に見に來ましたが、浮き袋の可成り大きいのを手に取つて、「これを私がつけても水に浮くか知ら」と尋れました。同じ鯉から人間の入れ齒のやうな下顎を拾ひ取つて奇麗に洗ひ「これをお祖母樣に上げやう」と云つて、大事に紙に包みました。

―〔投書を歡迎します〕―

十二

三十萬圓の口腔衛生費

市費で口腔衛生をやつて居る
一度切りに捨てる紙のコップ
青色で全部を造つた治療室

米國各地の口腔衛生狀態を視察して歸朝した中原市之助氏が日本齒科醫學會で講演された中に「米國の各市が市の事業として口腔衛生をやつて居ることは隨分盛んなもので、その爲か胃腸病院などは彼地に存在しない、或る停車場の水呑は全部ガラスでなく、簡單な紙製のコップで、一度切りで棄て、仕舞ふやうになつて居る、又或る市の口腔治療室の壁の色は眼科醫、美術家、齒科醫の共同研究に成つた青味がゝつたもので、患者の心を慰めんとしてある。紐育市などでは市費として市に三十萬圓の口腔衛生費を支出して居る」と云はれた。我國には未だ彼地の如き施設を行つて居る都市は無いが、併し最新の科學を應用し、二十余种の貴重原料を配合して製出された理想の齒磨日本名物クラブ齒磨があるので、口腔の衛生は最も完全に確保されて居る事は我國口腔衛生學上の一大發明である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

朝餐の卓に

甘美しいコーヒーの入れ方

櫻井ちか子

朝餐には凡て淡泊したものがよろしい。洋食ならばハットビスケットにハムエッグ、コーヒー位の軽いものです。

▼ハム、エッグ ハムを薄く切つて、フライ鍋でバタを溶かして焼き、その側に玉子を割り、白味が固まつた時、鹽と胡椒を一緒に皿につけて出します。また一法にはハムを細く切つて、脂で煎り、黄味、白味とも攪き込んでもよいのです。ハムに鹽氣があるので、鹽を入れる必要はありません。一人前五錢位で出來ます。

▼蒸玉子 黄味と白味を別々に分け、白味を泡立て、よく泡立つたらば、小皿か小丼に入れ、眞中をくぼめて黄味をその處に入れ、皿の儘蒸籠に入れ、半熟になる迄蒸し、鹽、胡椒を入れて鹽梅します。其の蒸し加減は白味が膨れた頃を度として下ろします。

▼干鱈の玉子とぢ 干鱈を一晩位水に漬けて軟かくなつた時、むしつて牛乳を入れて煮、鹽を入れて鹽梅し、黄味白味とも攪き合してかけて出します。トーストの上に載せて食べても、その儘食べてもよいものです。

▼トースト パンを厚目に切り、初めとろ火でやき、一寸強い火でしあげ、片側にバタを塗つて成るべく冷めぬやうに皿に盛つて出します。西洋ではトーストを立てゝ盛り道具が出來て居ります。

▼コーヒーの入れ方 米國邊では女中に住み込みますと、先づ第一其の家のコーヒーの入れ方を主婦に尋ねると申しますが、コーヒーは入れ方が種々あります。然し朝は褐色コーヒーとてがぶ〳〵と飲めるもの、食後には黑色コーヒーとて小さい茶碗に入れて出すやうにするのが普通です。

此處には朝のコーヒーの入れ方をお話しますと、六人前を拵へるには、茶匙六杯のコーヒーに茶碗六杯の熱湯を入れ、沸騰つた時、小さい玉子一つを割つて入れ、五分間煮て、後とろ火にかけておさまし、よく澄んだ處を、好み丈け砂糖と牛乳を入れて出します。これが褐色コーヒーと申すのです。玉子は分量が多過ぎると、まるでコーヒーの色が無くなりますから、一人前ならば、玉子一個の殼を割つて入れゝば、丁度よろしうございます。此の時はその殼に着いて居る白味が役立つのですから、洗つて入れてはいけません。

▲黑色コーヒー 一合につき大匙一ぱいのコーヒーを袋に入れて、湯と袋とがぴた〳〵につく位にして火にかけ、蒸して出すのです。こうすると前とは違つて濃く出ますから脂濃い洋食の後に、小さい茶碗に出すに適します。

コーヒーは日本に來て居るのは、普通ジャバにモーカですが、ジャバは苦味があり、モーカはコヽアのやうに甘いので、兩方を半々に混ぜて用ふると丁度よいやうです。

コーヒーに入れる牛乳はたゞのでは水つぽくなりますから、クリームを入れると大層味がよくなります。

■醫師の推奬め

齒の良くなる理想の齒磨
生地の白なる理想の白粉

●クラブ齒磨 齒牙の汚きは美容を損する事頗る多し、電車の中などにて妙齢の婦人を見るに、齒の汚き人比較的多きは其の罪を從來齒磨の多く粗惡なりしに歸せざるを得ず、一度歐米に遊びし人は、彼の地の精良なる齒磨を使用し、歸朝して吾が國の齒磨の粗惡なるに驚く事多し併しクラブ齒磨は、歐米の善良なる齒磨に比するも、毫も遜色なき理想的の齒磨なるを以て、吾人は毎に此の齒磨を賞用す。

●●●クラブ●●白粉●●クラブ●●●美の素白粉●●●●● 本品も亦衛生的化粧品として聲價あり濃艶淸洒自在の化粧を爲し得べし。

以上は羽太ドクトルの主幹せらるゝ衛生世界四月號に紹介推奬せられたる所醫師の責任ある推奬の言として玆に轉載す。

十三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

世界史お伽噺

一番幸福な人

斬雲

先達てお話した希臘七賢人の一人、アゼンスのソロンと云ふ人が、外國を遊び廻つて小亞細亞のリチヤと云ふ國に參りました。其時リチヤの王様は、クリーサスと申して御威光が強く、お金が澤山有つて飛ぶ鳥も落す勢です。

此のクリーサス王様は、希臘の賢人ソロンが來たと聞いて自分のお宅へ迎へ入れ、種々御馳走しました。翌日はお金庫に案内して山程積んだ黄金を見せ、扨てソロンに向つて問ひますには「卿は方々の國を廻つてお出でだから、様々な人にも出逢つたでせう。今世界の中で一番幸福な人は誰れですか」。

クルーサス王様の腹では、自分こそ世界一の幸福な人と考へて居たのですが、ソロンはおべつかを使ふ事は嫌ひな人ですから、「然れば、人間は死んで了つた後でなければ、誰れが一番幸福なと申されません。私が一番幸福な人と思ひますのはアゼンスのテラスと云ふ人です」と答へました。

クリーサス王様は些と不興な顔色して「夫は又何う云ふ譯か」「然れば此のテラスは、アゼンスの國が繁昌した時代に生れて、何に一ツ不自由なく暮し、其の子は皆な氣立ての善い者ばかりで、一家富み榮えました。其後アゼンスで隣り國と戰爭した時、テラスは戰爭へ出て無類の働きをし、遂う戰場で討死しました。其の手柄でアゼンスでは戰爭に勝つたのです。で、アゼンス人はテラスの爲めに王様同様の葬式を營み其名を後代迄傳へたのです。之が私の知つて居る中で一番幸福な人です」クリーサス王様も成る程と思ひ、「然らば其次ぎに幸福な人間は誰れか」と問ひました。

ソロンは答へて「次ぎはアルゴスの人間に、クリオビス、とバイトーの二人の兄弟です。此の二人は別段物不自由もない暮しをし、夫れに大變力持ちで、二人共二度迄オリムピヤの競爭に一等の勝を占めて月桂冠を得ました。其後アルゴスにお祭りがありまして、此の二兄弟は年老いた母を牛車に載せて神様のお宮に參詣する事になりました。お宮へ行くには自分の家から二時間かゝるのです。處が車を曳かせる牛は何時迄待つても來ません。モウ時間が遲れます、そこで孝行な二人の兄弟は、自分達の手で重い車を曳いて母を神殿迄運びました。大變重い車を急いで曳いたので、兄弟は神殿に着くや其場に斃れて了ひました。

大勢の見物人は、此の二兄弟が重い牛車を曳いた勇氣を賞め、婦共は其母に向ひ「立派な息子さんを有つて仕合せだ」と賞めました。で、母親は、皆から賞められるのを喜び神前に坐つて祈禱をしましたが、二兄弟は大勢の喝采を聞きながら苦みもなく死んで了いましたアルゴスの人民は其後此の兄弟の像を作り神殿に納めて長く孝子を表彰したと申します、こんな人間こそは本當に生甲斐があるではありませんか」クリーサス王様は、ソロンが自分を幸福者だと言はないのを層御立腹でしたが、此王様は其後大變不幸な身の上になりました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

地下室の窓から（トルストイ作）

（其二）

松本雲舟

三

マーチンがいつものやうに聖書を讀んでゐると、ルカ傳の第六章に次のやうな事が記してあつた。

「人汝の頰のかたへを擊たば、亦かたへの頰を向けよ。汝の上衣をとらば、下衣をばこばむ勿れ、凡べて汝に求めば、これに與へ、汝の物をとらば、それをまた求むるなかれ、汝、人にせられんと欲することは、亦人にもその如くせよ」

マーチンは同じ章を讀んでゆくと、次のやうな耶蘇の言葉があつた。

「汝等わが言ふところを行はずして、なんぞわれを主よ、主よといふや。凡て我に來り、わが言葉を聞きて、行ふ者を譬へて汝等に示めさん。その人は家を建つるに土を深く掘りて基礎を磐の上におけるが如し。洪水の時、流その家を衝くとも、動かすこと能はず。これ基礎を磐の上におけばなり。聽きて行はざる者は基礎なく、家を土の上に建てたる人の如し。流これを衝くときは、その家たゞちに倒れ、その破れまた甚だし」

マーチンはかういふ言葉を讀んで、大に心に慰めを感じた。眼鏡をはづして、書物の上に載せて、肱を卓にもたせて、冥想に沈んだ。自分の生活をこの言葉に照し合はせて考へて見た。

「私の家は岩の上に建つてゐるのだらうか、砂の上に建つてゐるのだらうか。それが岩の上に建つてゐるのだと善いがな。さうすれば此處に唯た一人で坐つてゐても安心だ。神さまに命つたことを皆んなしても、不注意すると、又罪を犯すことになる。だから、氣を張つて善い事をせねばならぬわい。おゝ神さま私を助けて下さい―

もう寝床へ入る時刻だとは知つてゐたが、尚も想ひ耽つてゐた。聖書から自分を離すことが嫌であつたので。それからルカ傳の第七章を讀み初めた。百人の長のことや、寡婦の息子や、ヨハネの弟子に答へられた事などを讀んで富めるパリサイ人が耶蘇を家へ招待して、一人の女が主の足を涙で洗らひ、主がその女の仕たことを正しいとされた節へと進んだ。その第四十四節を讀んで見ると、

「遂に女を顧みて、シモンに言はれけるは、この女を見るか、我なんぢの家に入るに、汝はわが足に水を與へず、この女は涙にてわが足を濡し、その頭の髮をもて拭へり、汝はわれに接吻せず、この女はわがこゝに入りし時よりわが、足に接吻して止ます、汝はわが首に油をぬらず、この女はわが足に香油をぬれり」

マーチンは此節を讀んでから想つた。

「汝はわが足に水を與へず―汝はわれに接吻せず―汝はわが首に油をぬらず……またもや眼鏡をはづして、聖書の上に載せて想ひ耽るのであつた。

「私はまた、パリサイ人のやうだな」とマーチンは心に想つた。

「私はお茶を飲んで、自分のなくてならぬ物の事はかり考へてゐる。さうだ、自分が食つたり飲んだり、暖になつたり、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

奇麗になつたりする事ばかり考へて、まだお客さんをもてなした事がない。シモンも自分の事ばかり考へてゐたのだ。自分を訪ねて來たお客さんが誰れであるか、そんな事は考へなかつたのだ。然もそのお客樣は主御自身であつたのだ、それなら主が私を訪ねて下さつたとしたら、私はシモンよりも鄭重に主をもてなすだらうか。」マーチンは肱にもたれて、考へ込んでゐたが、氣がついて見ると、うと〳〵と睡つたらしい。

四

「マーチン」と誰れか耳のはたで、言ふ聲がしたので、はつと眼をさました、

「どなたですか」と言つて、向きかへつて、入口の方を見たが誰れもゐない。また卓によりかつてゐると、また突然かう言ふ聲がした。

「マーチン、マーチン、明日街道を見て居れ、私がお前を訪ねて來るから」

マーチンは正氣づいて、椅子から起ち上つて、眼をこすつた。この言葉を聽いたのは夢であつたか、醒めてゐたのか自分ながら解らなかつた。だが、ランプを消して寢床へ入つた。

翌朝マーチンは夜の明けぬ前に起きて祈禱をあげた。それから爐の火を起して、玉菜の汁と粥をこしらへて、湯を沸して、それから革の前かけをして窓のそばで仕事を初めた。坐つて、仕事に精を出しながら、頭の中では始終昨夜のことばかり考へてゐた。聽いた聲に對して二つの考が浮んだ。初めは氣のせいだと想つたが、いや〳〵確に聲を聽いたのだと想ひかへして、

「さうだ、確かに聲がした」と心に決めてしまつた。

マーチンは窓の側に坐つて、例のやうに仕事をしながら戸外を見てゐた。自分の知つてゐる靴が通る度に、屈んで窓から見上げて、それを穿てゐる人の顏を見た。門番が新調の靴を穿いて通つた。それから水擔夫が來た。それからニコラス軍の老兵が、補片のあたつた古靴をはいて、手に雪除を持つて來たが窓のそばで立ち留つた。マーチンはその靴を直した事がある。老兵はステパニチといふ男だ。近所の商人の厄介になつて、門番の手傳をしてゐる、彼はマーチンの窓の前の雪を掻き初めたので、マーチンは老兵の顏を見て、又仕事に取りかゝつた。

「私は老耄して來たに相違ない。」とマーチンは笑ひながら考へた。「ステパニチが雪を掻き初めた時に、不圖基督が私を訪ねて來られたやうな氣がした。「さうだ、私は馬鹿になつたのだ、もう髯も白いのだからな」

マーチンは十二針も縫はぬ内に、また頸をのばして、窓の外をながめた。するとステパニチは雪除を壁にもたせかけて、休んで身體を暖めやうとしてゐる所であつた。「この男はもう年を老つてよぼ〳〵してゐるな」とマーチンは呟いた。「雪を掻くほどもう達者ではない。お茶を飲むかしら。さう〳〵湯がもう沸いてゐる筈だ」

噂

▲文學士沼波瓊音氏の夫妻は非常に天理敎に凝つて居られて何事でも神託を伺はなければ手を下さぬといふ事です。

▲晦日に掛取りが行つても、「今日は神樣のお告げでお金が渡されぬから、何時何時にしてくれ」と申さるゝさうです。▲お隣りに住んで居る齋藤文學士が「風邪の氣味で困る」と云つて來られると「ごーれ、神樣の御利益で癒してあげやう」とて、早速裸体にして、呪文た稱へ乍らびしや〳〵と叩かれた。齋藤氏は震へながら家に歸つて來て「これは堪らぬ」となほ病氣を重らして幾日か閉ぢ込つて終つたさうです。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉赤十字社總會に行啓　既報の如く六日午前青葉薫る日比谷に於て廿四回總會を開く。約四萬に近き會員着席するや十時五分君が代の奏樂裡に　皇后陛下の行啓あり。閑院宮、東伏見宮、伏見若宮、久邇宮、梨本宮各妃殿下玉座の左方に並列し給へば、陛下には玉音朗らかに左の令旨を給ふ。

御令旨

玆に日本赤十字社第二十四回總會に臨み親しく各員を見るを喜ぶ本社の事業年を追て發展し曩に歐洲へ派遣したる救護員は最も良好なる結果を收め今や其任務の終了近きにあるは深く滿足するところなり尚將來社業の益々盛大ならん事を望む。

右終るや總裁宮殿下は御前近く進みて答辭を述べ給ふ。凡ての間前後十分。陛下には萬歲聲裡に御機嫌殊の外麗はしく還啓遊ばされたり。

◉東久邇宮妃御安產　東久邇宮稔彥妃聰子內親王殿下には六日午前二時王男子御誕生遊ばされ、御母子とも御健全に渡らせらる。兩陛下は王男子御誕生を聞し召され、お祝ひとして清酒一樽、鮮鯛一折を賜はれり、御命名式は十二日同宮邸に行はるゝ筈。

◉宮中の御養蠶と御茶摘　皇后陛下には一日より例年の通り宮中紅葉山養蠶所に於て春蠶を開始させ給へるが、主任として西ヶ原なる東京蠶糸學校長本多岩次郎氏時々伺候する事となり居れり。なほ青山御所內の御茶畑も既に美しき新芽萌え出でたれば例年の如く茶摘み製茶の御催しあり、京都より茶師三名を召され、茶摘み女二十名着京して、五日より內匠寮苑務課員監督の下に茶摘み開始されたり。

◉陸軍將官行賞　四日日獨戰役に關係ある一戶大將以下將官に對し、行賞の御沙汰あり、併せて從軍記章を賜りたり。

◉陸軍の大更迭　二日陸軍將官武田少將以下將官の人更迭行はる。

◉英財政家逝去　屢々閣班に列したる英國知名の財政家セント、アルドウイン子爵は此の程逝去せり。享年八十歲。

◉タゴール氏來朝　屢々日本來遊を噂されたる印度詩星サー、ラビンドラ、ナート、タゴール氏は愈よ去月三十日カルカッタ發の郵船に搭乘したる由なれば、來る廿七日頃神戶着の筈なり。

◉ゴルキー來朝の噂　病氣危篤を傳へられし露國文豪マキシム、ゴルキーは健在にて六月中旬頃露都發日本に來遊の筈。

◉黃興氏夫人令息來る　支那革命黨の領袖黃興氏が夫人令息を同伴して春洋丸にて來朝の由は先に報ぜしが、去る九日橫濱入港の同船には夫人令息等のみにて黃興氏は乘組み居らず。傳ふる所によれば黃興氏は途中吾妻丸に移乘して田浦に上陸せりといふ。因て夫人令息は直に入京府下高田村なる嗣子黃一歐氏邸に入れり。

◉全國小學校長會議　帝國教育會主催第六回全國小學校長會議は全國十餘萬の小學教師の代表者とも見るべき八十餘校長を蒐め、六日より開催せらる。提出の文部省諮問案及び帝國教育會並に各府縣教育會提出議案につき、同特別委員會に於て數ヶ條の審議ありたる中「小學校女教員の分娩期に、特別の攝生期を與ふべき法令を設けられんことを其筋に建議する件」は、可決に至らずして止みたり。

◉花蹊女史の喜壽の賀　跡見花蹊女史は本年七十七歲に達せるより去る八日跡見女學校に於て喜の字の祝賀會を開きたり。兼ねて勳六等敍勳の節校友會より寄贈の肖像（黑田淸輝畫伯執筆）出來上りしより其の披露會をも兼ねて盛大なる祝賀會を開きたり。閑院宮家より御降嫁ありたる黑田侯夫人安藤子爵夫人も同校御出身の故を以て御出席ありたり。

◉四女史の榮譽　六日帝國教育會に於て、功勞教育者六十六名に、功牌を贈呈せられたるが、その中に下田歌子、津田梅子、佐方鎭子、後閑菊野子の四女史あるは喜ぶべき所なり。

◉三十年永續の兩訓導　京橋區泰明小學校訓導江せん子、木內けい子の兩女史は就職以來殆んど三十年間一日の如く、身を教職に委ねて兒童や父兄の信賴も一方ならざりしが、今回兩女史とも病氣の爲退職する事になりし故、學童保護者中の有志起となりて、豫て募集中なりし五百圓の慰勞金を兩女史に贈る事になり、來る七日盛大なる贈呈式を擧げ、猶其際同校女子同窓會の有志が謝恩の眞心をこめて集めたる百餘圓の慰勞金、職員一同同窓會等よりの見事な記念品も併せて兩女史に贈呈するとの事なり。

◉表彰される二看護婦　築地の東京市施療病院開院以來滿五年勤續した高橋かよ子（三四）井上ちゑ子（三〇）の二名の看護婦は、その精勤と善行とにより同院共濟會から近日表彰さるゝ事となれり、當日は銀盃並に院長の感謝狀も送らるゝ筈。

◉女齒科醫　去る五日行はれし齒科醫の實地試驗合格者中に木村蔦野子渡邊實子の二婦人あり。共に神田北神保町の私立東京女子齒科醫學校出身者なり。猶又八日發表されし齒科醫開業試驗の合格者中にも川口仲子柳澤ふみしといふ二名の婦人あり、共に神田小川町東京齒科醫學專門學校講習會の出身なり。

◉朝鮮の盲目女學生　今回朝鮮總督府にては、曹培（一九）といふ盲女を東京盲學校に留學せしめたり。官費の女子學生留學は今回を以て初めてとす。

◉盲人の爲めの圖書館　小石川區指ヶ谷町に住む羽藤英之といふ盲人は、先年より鍼按術の書物、不如歸、金色夜叉の如き小說書類に至る迄、凡そ二百册を點字に綴り　東京市の圖書館に備へつくるやう交涉したる結果、近々小石川と本鄕の圖書館に備へ付け、廣く盲人の觀覽に供する由なり。

◉私娼の撲滅を期す　警視廳にては豫て私娼の取締方法に就き、深き研究を凝らし居りしが、今回愈根本方針を確立して、嚴然たる取締を勵行するに決し、之れと同時に公娼に對する規則をも改めて、八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日管内に廳令を發布して、即日之れを實施する事になれり。この取締法によれば、私娼は容赦なく撲滅し盡すと同時に、公娼は張店を禁止し、兼營する飲食品には代價を表示し、且つ廓内の改築を行つて、娼妓の外出制限を幾分緩和し、貸借記入簿の點檢を實行する等であります。

◉飛田遊廓問題　飛田遊廓取消期成同盟會代表者菊地侃二、日野國明、石橋爲之助の三氏は八日内務省に一木内相を訪問該問題に就て質す處ありたり。

◉工場法施行　來月一日より施行さる可き工場法は警視廳に於て取締る事となれるより同廳にては去る五日築地本願寺に東京市府の主なる工場主及同業組合幹部を召集して第一回講演會を開き、工場法發布の主旨は事業に規律あれ職工に對して慈悲あれと云ふ二つに盡されて居る事を岡商工局長に依て講演されたり。

◉婦人記者倶樂部例會　五月五日赤坂溜池三番地婦人矯風會内に例會を開く。久布白落實子、守屋東子、宮川靜枝子（以上婦人新報）吉田淸子（國民新聞）神近いち子（日々新聞）仁科節子（家庭週報）大澤豐子（時事新報）竹中繁子（朝日新聞）服部桂子（萬朝報）野口精子（新女界）磯村春子（婦人公論）及び本社の小橋三四子等十二名會合し、公娼廢止の問題を始め、種々の社會現象につき意見を交換し、節句の馳走として有志より送られたる赤飯、ちまき、柏餅の饗應に歡を盡して二時頃散會、近頃になき盛會なりき。

▽日本女子大學校　九日午後二時より、森村、澁澤兩男爵の敍位敍勳の祝賀會を催せり。

▽櫻井女塾　來る六月六日より十日間、特に主婦の便宜を計り毎日午前十時より午後二時迄、西洋料理十回講習を開く筈、會費金五十錢

個人消息

▽柳葉淸子―（本誌記者）　永々の病床にありし令弟五日朝遂に逝去せらる。

▽松方竹子―（廿一）　松方侯爵の孫女にして、今回陸軍大將黒木伯爵の令息法學士三次氏（三四）と婚約成り、十五日日比谷大神宮にて華燭の典を擧ぐる答。新婦は學習院女子部の出身にして諸藝に堪能なり

▽入江朔子―（子爵令孃）七日宮内省主獵官從五位坊城俊良氏と日比谷大神宮に於て莊嚴なる華燭の典を擧げらる。

△大崗民子―（十九歳子爵令孃）　今回子爵毛利元秀氏の令弟豐雄氏（二五）と婚約なり三日結納を取交されたり。

△山内珠子―（子爵母堂）　過般來病氣に罹り、靜養中の處、五日午後七時遂に逝去　享年六十九歳。

△尾崎三千代子―（紅葉氏遺兒）　今年東京高等女學校を卒業し、此の程鏑木淸方氏の門に入る。

△高月千代子―（法學士一郎氏夫人）　安南より歸朝されたる同夫妻は神田駿河臺鈴木町十七日昇館に滯在。一兩ヶ月の後再び渡航の筈。

◉過去帳　相州鎌倉鶴ヶ岡八幡宮宮司正五位勳六等丹羽與三郎（七七）は京都桃山御陵參拜の途次發病去る九日大阪に於て逝去。

編輯室より

▲臼井氏は遠く滿州に行き、柳葉姉は令弟逝去の爲め、忌引されて居つて、編輯室は近來になく人少なになりました。折柄來訪された大村嘉代子樣は、俄か記者になられて記事を手傳はれ、次々に來訪される御客樣方が、何れも此處の机によつて、せつせとお手傳ひ下さるのでした。「こんなに後援者が多いんですものね」と感心なさる方もありました。▲病羅錄の筆者高田夫人は青山女學院出身で、文筆には殊に長けて居られます。▲單に數回に亘つて眞實な筆を揮はれます筈ですが、單に讀み物としてゞなく、多くの病者や其の家族に必ず大なる慰藉を與ふる事が出來やうと存じます。

十八

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其ノ任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子

印刷所　東京支店　福音印刷合資會社

發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社　振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他

院長診察 月、金、木午前及(木)午後六時

林、峰間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地(市ケ谷見附内)

電話番町 六二一番

南湖院

神奈川縣茅ケ崎海濱(従停車場半里)

電話ちがさき二番

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察 土曜日 午後入院診後應需

診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも新調同様になります

殆んど和洋服

外套インバ東コート

ネル・セル・ショール

半襟毛皮等のクリーニング

と染色を丁寧親切迅速に致します

○局部シミヌキ

○御一報次第參上

各國大公使館

帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會

日比谷公園停留場際

電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後

病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

齒科

ドクトル 富田貞一

日本橋區高砂町六

(久松町停留場より西一丁)

電話浪花五四〇五

殺菌と血止めに便利なる

毒消し筆

一本金拾錢

送料金貳錢

●毒虫、蚤、蚊にさゝれた所の毒を消しかゆみを去り

●創口の血を止めて其場所を殺菌す

●携帶至便●使用簡便●殆んど永久に用ひられる●是非一本を試みあれ

(注意)參錢郵券四枚封入御注文あれば即時發送す

發賣元 小石川區高田老松町十七

振替東京 三一六九二

目白藥局

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地

女醫 井出茂代

電話番町三六七七番

肝油服用者之福音

諸大醫の賞讃

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲める肝油球である

肝油球の特効

身體の弱き人

かぜ引き易き人

腺病の人

夜盲の人

冷え性の婦人

肺の惡しき人

貧血にて艶のなき人

油氣の少ない人

三百球入 弍圓

百球入 七十錢

五十球入 四十錢

送料各八錢

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一

工場 東京赤坂新町三ノ三十二

藥劑師 富谷宗吉藥局

電話新橋三百十九番

振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

速成個人教授生徒募集

普通科五十種一ヶ月

高等科五十種二ヶ月

入所 入舍 隨時

袋物

生花、造花、摘細工、縫細工、綿細工、壜細工、儀式用折紳、水引結方、和洋裁縫、

東京九段靖國神社横

大妻技藝傳習所

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□ローマ字書きの二雑誌□

毎月一回一日發行

ローマ字

定價一部送料共十三錢 一年分一圓四十錢

第十一巻第五號要目

□ローマ字の綴り方に就て 醫學博士 櫻根孝之進
□ものをいはぬやうに話す 慶大教授 向軍治
□航海上の智識 …代議士 根本正
□生物學と國字問題 理學博士 石川千代松
□日本の音標文字 文學士 三上節造
□日本語の中の英語 ……日下部重太郎
□詩形論 ……法學士 時枝誠之
□文藝時評 ……水野盈太郎
□繪とその思ひ出 ……石井柏亭
□アイヌと書家の對話 ……秋田雨雀
□小笠原島の話 ……北原白秋
□枯草（俳句）……荻原井泉水
□春にして（短歌）……山田邦子
□夢判斷 ……法學士 蒲生俊文
□ベースボール爭覇戰 ……阿部舜吾

毎月一回一日發行

家庭のローマ字

定價一部送料共五錢 一年分五十錢

第一巻第五號要目

□A、B、Cの書き方… 商學士 安藤兼三郎
□英國の土産話 ……大東直太郎
□家庭繪本 ……石井柏亭
□小供の爲に ……水野葉舟
■現代婦人の缺點 ……嘉悦孝子
■佛蘭西の少年 ……向軍治
□錠、着初め ……川副櫻喬
□つばめの歌（樂譜付）……百合子
□學校休み ……加茂正一
□家庭衛生 ……醫學博士 櫻根孝之進
此の外懸賞ローマ字考へ物、其他記事豐富

成瀬仁藏先生序・川副櫻喬先生新著

ローマ字雑泙 囁き

菊半截口装幀高雅 定價二十錢 送料二錢

「さゝやき」一巻の内容は宗教、文藝、自然、社會に對して著者の胸裡に湧き起つた眞實の叫びである。若葉の薫り幽雅しき晩春の朝夕、靜かに本書を繙けば、不知不識の間に心が高い靈妙の囁きを感受することが出來る。

東京帝國大學教授文學博士 藤岡勝二先生著

大正四年版 ローマ字手引（五版）

これからはどんたくローマ字を讀めぬやうではいけません。藤岡先生は帝國大學で言語學を講じて居られます。是非此の書によつて正則のローマ字綴り方を學びなさい。（定價は一部送料共僅か十七錢です。

發行所 東京市丸の内 ローマ字ひろめ會
振替東京九一一、電話本局五二五六

六月六日より十日間開催 午前十時より午後二時迄

西洋料理十回講習

壹回實費共金五十錢

この講習會は特に主婦の都合よき時間を計り會費も一回毎に定めて出入に便利を計つて置きましたお誘ひ合せ御來會下さいませ

本郷區彌生町三番地 櫻井女塾 電話下谷六八一五

櫻家庭寮

府下千駄ケ谷町九〇三

寮母 粟屋絭子刀自
顧問 久留島武彦氏

極めて家庭的にお世話致します 寮費金拾貳圓

ピーナットバター

大罎 六十錢 小罎 卅五錢

ピーナットバターは蛋白質脂肪等を多大に含有するが故に極めて滋養に富み便秘、脚氣、衰弱、貧血、冷へ性、肺病、糖尿病等に卓効あり

婦人週報社代理部取次 振替東京三一六六〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

合名會社

飯嶋婦人洋服店

男女小兒服裁縫並ニ附屬品販賣

電話新橋二五一八番

東京市芝區南佐久間町一丁目一番地

御婚禮夜會御化粧（出張 來館 共）

御常日は御化粧より御着服に到る迄懇切に御世話申上ます。

美顏術御婦人化粧所 理容館主 遠藤波津子（電話新橋一五一九 振替一四一〇〇）

——理容館特撰化粧品——

特製ライラック金七十錢□化粧水金五十錢□ハイジニニ、ク金六十錢□クリーム金四十五錢□理容水（顏用）白粉金五十錢□同煉（襟用）白粉金卅五錢□固形ぬか金十五錢□ガーゼ手拭金十二錢□理容ベンチ（衣服垢取）金卅五錢

女子實務講義

新學期開講には此際入會する者には特典を與ふ

見本附規則書には普通科事務科技藝科共すべての内容明らかなり郵送料二錢切手封入申込めば**無代進呈**すべし！

此講義錄は多くの女子講義錄中最も實際的の講義錄です、普通科事務科技藝科の三科に分れて居ますがいづれもやさしい親切な講義で誰にも解り易く三科共六ケ月で卒業せられます二科三科一時に學修する事もできます學費は一ケ月四十錢で半年前納二圓廿錢事務科の卒業生には就職のお世話もします、學監嘉悦孝子先生初め講師は法學博士和田垣謙三先生など有名な方々です。

入會の好機は今也 今！今!! 今!!!

今をおいて機會は又來らず思ひ立つた今直に見本を見、規則書を讀み、躊躇せず入會せられよ今は**入會の好機也**

大日本女子實務學會

東京市外飴戸町 振替東京二三三九二番

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA